

道の駅整備基本構想（案）に対するパブリックコメント結果

別紙

令和3年4月 地域戦略室

(1) 道の駅整備候補地の選定について

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
1	P3	道の駅は基本的に車を使い利用することから、高速道路のサービスエリアと同じものとするので、車の利用が多い高速道路のインターチェンジに作る方が良い。	ご意見のとおり、SIC付近に整備する方向としており、町としてはSIC設置を実現するためには、道の駅と一体的に整備することが有効だと考えており、SICの早期設置について引き続き国土交通省やNEXCO等に要望していきます。
2	P3、P6～7 駅前再整備	駅前整備とコンパクトな道の駅を一体化し、町の中心部に計画してほしい。	前述のとおり、SIC設置を実現するためには、道の駅と一体的に整備することが有効だと考えていることから、道の駅は町民等の利用はもちろんですが、主となるターゲットを観光客としてドライバーの休憩機能とサービスの提供を重視する考えです。 一方、駅前周辺再整備では、地場産品の物販店舗やカフェ、温浴施設などを備えた複合施設を設置し、町民をはじめ駅の利用者や国道を通過する方をターゲットとした整備を目指していきます。
3	P3、P27 十勝エリアの 玄関口として の拠点づくり	十勝の玄関口としてインターチェンジ隣接に道の駅を設置すべきだと思います。 トムラウシ方面の山並みを一望できるすばらしい場所である。	前述のとおり、SIC設置を実現するためには、道の駅と一体的に整備することで相乗効果が発揮され、有効だと考えております。
4	P3	車などが無い町民のため、街中から循環バスなどを考えてはどうかと思います。	駅前と道の駅の連携による相乗効果は、大変重要なことであると 考えております 例えば時間を決めてバスを運行させるなど、町民の足の確保に努めていきます。
5	P3、P27 十勝エリアの 玄関口として の拠点づくり	以前から好きなビューポイントでトンネルを抜けると一気に北海道十勝らしい景色が広がる良い場所です。 他の十勝管内とは違ってトムラウシ山をはじめとする大雪山の山々などを新得の売りとして押し出してはどうでしょうか。 キーワード：アウトドア、登山、バックカントリー、キャンプ	景観の良さについては、多くの方からご意見をいただいております、十勝・新得らしい景色を一つの売りとして、効果的なPRに努力していきます。
6	P3の表2	新得SIC付近までは市街地から距離があり、地域住民等の利用者を獲得しづらいとあるが、収益のある道の駅では、数多くの地域住民の方々の利用があると聞いた事があります。そのための方策が示されていない。	多くの地域住民の方に利用していただけるよう、魅力のある取組に加え、循環バスの運行など足の確保にも努めていきます。
7	P3	計画をしている土地を購入する必要があるのか。 また、購入するのであれば、障害はないのかを記入する必要があるのでは。	計画地は畜産試験場の所有地であることから、購入する必要があります。 SIC設置の動向により、候補地として正式に決まった段階で、具体的に条件を協議していきます。
8	P6 候補地の現況	新得市街地から計画している場所へ行くまでの道路整備の必要性を明記した方が良いのでは。	現在考えているSICまでのアクセスルートは、基本構想案8ページに掲載のとおり整備を考えております。

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
9	P3	セブンイレブン店舗に隣接したところが良い。 買い物は電子マネーの利用がますます多くなると思われ、セブンイレブンは電子マネーのチャージが出来る環境にあるため。	ご意見としてはわかりますが、道の駅の場所を決める上で、優先度を検討した結果、SIC付近に設置する方向としておりますので、ご理解をお願いします。
10	P7 その他	前回は提案したが、高速道路の今後を考えた場合、新得SA（サービスエリア）としての機能を備え持つ「新得型の道の駅」を提案したい。道内では他になく、本州で知るのには中央道の談合坂でしょうか。 サービスエリアとスマートインターの合体はハードルも高いと思いますが、別々では意味がありません。あの場所に造ってこそ新得型サービスエリアです。	ご意見のとおり、高速道路から退出することなく、SAの機能としての道の駅は集客の面で非常に有効であることから、設置を検討してきた経過があります。 しかし、SAと一体となった計画にならなかった理由として、用地の課題や高速道路利用者の安全性の問題のほか、SICの交通量の算出はインターを出入りした台数で換算すること、さらに、道の駅で新得町を知っていただき町中へ周遊してもらうことを一つの目的としていますので、一時退出をしていただく方法をとりました。
11	P3の表 2 及び P4の表 3	「新得SIC」付近が候補地として選定されたことが示されているが、ここに書かれている課題はどのように解決されて、「新得SIC」付近に決定したのか、理由が見えてきません。	・課題にある市街地からの距離については、循環バスの運行などにより対応が可能であり、町内等を回遊したくなるような工夫については、農業体験や観光により長期滞在に繋がるよう、町内はもちろん、鹿追町などと連携の上広域的な整備効果が発揮されるよう関係機関と協議していきます。 ・新得SICのスケジュールが不確定なことについては、道の駅を設置することでSIC整備の可能性が高まるものと考えており、道の駅とSICをセットにした整備を目指すという理由から、SIC付近に決定させていただきました。 なお、SIC設置要望の交渉内容については、国土交通省やNEXCOなど相手があることですので、公表できないことも多いのが現状だということをご理解いただきますようお願いいたします。
12	P3の表 2 及び P4の表 3	・そもそも実現されるかも未定のSIC付近が候補地という計画には現実味がありません。コロナが終息するであろう数年後には、オープンできるぐらいのスピード感が重要です。	SICの設置は、必ず成し遂げたいという強い思いを持って数年来取り組んできており、SIC実現のためには道の駅をセットとすることによって、SICの整備効果を高める有効な手段として考えております。 スピード感を十分意識してNEXCOや開発局等に要望をあげておりますが、相手がいることであり、SIC設置実現の方向性が見えなければ道の駅も着手できないのが現状です。
13	P3の表 2 及び P4の表 3 候補地2カ所の比較	・現状交通量が比較されていますが、高速道路を通過する数と実際に国道を通過している数は比較できません。 国道の3,944台は実際に候補地の前を通過しており、ハンドルを切るだけで入ってこられる台数です。	新得SICについては、道の駅を整備することによって、高速道路を降りずに一時退出した扱いで利用料金はそのままとする「賢い料金」の適用を想定しており、この制度が適用されることで、国道と同条件になると考えています。
14	P3の表 2 及び P4の表 3 その他	道の駅と駅前構想が競合することを想定していますが、そもそも二つを一体化することは考えられないのでしょうか。	SIC設置の一つの手段とすることや、主とするターゲットや導入機能の違いにより、競合しないような整備を想定しています。

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
15	P3の表 2 及び P4の表 3 候補地2カ所の 比較	SIC付近では住民が利用しにくい、立ち寄り客は市街地へ誘導しにくいと指摘されていますが、これは深く掘り下げた議論が必要では。	今後も、課題について十分な議論を重ねていきます。
16	P3	<ul style="list-style-type: none"> 敷地の広いSIC付近に選定したと言うことで、トラックステーション（道内に2カ所のみ）と同じような休憩、入浴、仮眠が出来る駅が良いと思います。 トラックドライバーの方は、車を停めてゆっくり出来るところが少なく困っていると聞きます。ドライバーを送迎により町内に宿泊してもらうことで、商店の利用もあると思います。 トラック業界からもインターチェンジの早期実現を働きかけてもらえるのでは。	<ul style="list-style-type: none"> トラックステーションは、全日本トラック協会が協会員用に主要国道に設置しているものであり、本町の道の駅は仮眠が出来るような規模の施設整備は想定しておりませんので、ご理解ください。 ご提案をいただいたドライバーの送迎についても対応しかねると考えておりますので、ご理解をお願いします。
17	P3の4行 候補地2カ所の 比較	検討委員会がSIC付近に選定した根拠がはっきりしない。「長所と課題、2候補地の比較、様々な視点から比較検討を行った結果」とあるが、意見集約の決め手が見えない。	SIC付近を選定した理由は前述したとおりですが、ご指摘のとおり、根拠が記載されていないことをお詫びいたします。開発局等と交渉中の部分もあり、まだ公表できないこともありますが、大まかな根拠を基本構想に明記します。
18	P4表中その他 情報の不足	新得SIC情報の不足。高速道路は一時退出のイメージしかなく、残念ながら新得SICのイメージが全くない。より具体的に表現された説明資料はないのか。土地所有の公・私区分、法的制約など権利関係項目もほしい。	No. 12に記載のとおり、SICの設置は、必ず成し遂げたいという強い思いを持って数年来取り組んできており、SIC実現のためには道の駅をセットとすることによって、SICの整備効果を高める有効な手段として考えております。 新得SICのスケジュールが不確定なことについては、道の駅を設置することでSIC整備の可能性が高まるものと考えており、道の駅とSICをセットにした整備を目指するという理由から、SIC付近に決定させていただきました。 なお、SIC設置要望の交渉内容については、国土交通省やNEXCOなど相手があることですので、公表できないことも多いのが現状だということをご理解いただきますようお願いいたします。
19	P3 候補地の地権 者協議	新得SIC付近に設置する場合に対しての北海道庁の反応というのか協力の度合いはどうなのでしょう。勝手に試験場の広大な土地を使う構想をぶちあげてないのでしょうか？大雪縦貫道路や石勝線の十勝口決定の頃から既に、新得町のこうした開発構想には反感を持っている人達がいるようなので気をつけて頂きたいと思います。	畜産試験場とは以前から協議を実施しており、SIC設置が決まれば協力をもらえると考えています。
20	P3 他の候補地	④第2候補地 現候補地が様々な要因で実現が無理なときには、第2候補地としてJRの下を通り抜け、7号道路の突き当たりを右折して1kmのところにある旧石狩街道の旧シントク駅通付近はいかがでしょう。	SICの設置場所として4つの候補地を選定して検討した結果、駅通付近は取り付け道路周辺が急傾斜であり工事費が高額になるなど、他2カ所についても利用者の利便性の面から現候補地が最適だと判断しました。

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
21	P3 候補地の地権者協議等	<ul style="list-style-type: none"> ・用地については、アクセスの道路用地も含め畜産試験場との折合いはついているのでしょうか。 ・また、札幌から釧路へ向かう下り線だけを考えたSICであろうはずもなく、駐車場を分けて双方向からのアクセスが可能な案と考えていると思います。 <p>そうであれば、候補地の高速道路を挟んでSM工法の広内2号線橋西側の牧草地に導入線の土地も必要だと思われます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産試験場とは以前から協議を実施しており、SIC設置が決まれば協力をもらえると考えております。 ・上下線を考えた道の駅を計画しております。 <p>なお、広内2号線橋西側からの導入線は考えておりません。</p>
22	P3	<p>新得SIC付近に設置する場合は、単独で利益を上げる施設として考えていくべきだと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターチェンジの場所が鉄道を迂回する経路のため、新得方面へ抜けさせるには移動効率が悪すぎるし、回遊する工夫とあったが、そのような手段があるのであれば、38号線に造っても問題がない。 ・P27の整備方針に防災拠点とあるが、町内からのアクセスが悪く、災害時の防災拠点になり得ない。 ・P50の賢い料金の実施により高速道路の一時退出が可能となるため、町への影響は少ない。 ・周囲に店舗がないため、生活の時間配分ロスが多くなり、パートなどの労働者が確保しづらい。 <p>以上の理由から、あくまでサービスエリアとし、旅行者や労働者の休憩所として飲食や十勝のお土産の提供といった施設としてとらえるのがベストかと思います。個人的には自然を体感できる空間づくりや十勝ブランドイメージを考え、デザインを重視したすてきなものが出来るとは思うのですが、「地域の賑わいを生み出す拠点」にはなり得ないと考えられるので、候補から外れるのではないかと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前述のとおり、SICの設置は、必ず成し遂げたいという強い思いを持って数年来取り組んできており、SIC実現のためには道の駅をセットとすることによって、SICの整備効果を高める有効な手段として考えていることから、主たる利用者を観光客とし、選定したところで ・平成28年の水害のように、大規模災害時には国道が寸断された場合は、救援・復旧活動に大きな支障を及ぼすことが想定されます。国道の代替ルートとして例えば物資の搬送拠点等としての役割を果たすと考えています。 ・町内の回遊に繋がるよう、然別温泉を有する鹿追町をはじめとした西十勝で連携の上広域的な整備効果が発揮されるよう関係機関と協議していきます。 <p>その中で、町民や観光客に楽しんでいただけるイベントを定期的で開催するなど、賑わいのある場所を目指していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員の確保は、運営会社が雇用する人材は町民を優先し、不足する場合は運営会社のスタッフを広域で確保する方法など、様々な方法を協議していきます。
23	P3	<p>38号線付近に設置する場合は、日常使いとしては扱いやすい位置ではありますが、駅前構想と競合することが大きな問題で、施設機能のほとんどを駅前または、町内で消化できる内容ではないでしょうか。</p> <p>P4の比較欄では、役割分担の検討が必要とありましたが、力を二分し、互いが消耗し合うよりもいずれかに集中させた方が良いと思います。</p> <p>整備方針2のターゲットである高速道路利用者も外れ、眺望に恵まれた敷地からも外れるので、再考が必要ではないでしょうか。</p>	<p>前述したように、SIC設置を実現するためには、道の駅と一体的に整備することが有効だと考えていることから、道の駅は主となるターゲットを観光客とし、一方で、駅前には町民をはじめ駅の利用者や国道を通過する方を主とする整備を目指していきます。</p>

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
24	P3 アクセス道路	<p>③アクセス道路と桜並木</p> <p>町内とのアクセス道路は、SICを降りて広内2号線橋にまっすぐに通ずる道路を降り、パンケオタソイ川の楠橋を通る道に左折せずさらに真っ直ぐに、ここからは新ルートを開削しながらJRのSカーブを迂回する形で、旧大森昭二氏の畑を抜けて現大塚農園付近を大きくカーブして西4線に出て、畜産試験場入口付近の旧グラウンドで緩やかにカーブして夕張新得線に通ずる計画がベターです。</p> <p>アクセス道路は桜並木の道とすることにより、新得を訪れる人に深い印象を与えるものと思います。</p> <p>新得山の伊藤伝五郎氏による悲願桜、戦前の新得青年団による旧狩勝峠沿道の桜など、そこには桜に込められた願いと植樹の労苦を偲ぶことができます。</p> <p>だからこそ、道の駅とSICの実現の象徴として桜を植えることに大きな意味があります。資金が足りないときには、町民皆さんの結集の気持ちを大事に「町民による桜一本運動」を展開しても良いのでは。</p>	<p>アクセス道路のルートは、ご意見をいただいた左記のルートとほぼ同様ですが、既存の道路を基本に計画していますので、西4線から夕張新得線へは既存の道路を通るルートとしており、提案のあった「畜産試験場入口付近の旧グラウンドで緩やかにカーブして夕張新得線に入る」ことは考えておりませんので、ご理解ください。</p> <p>アクセス道路は桜並木とすることは、エゾヤマザクラは町木でもありSIC実現の象徴として大きな意味があると思いますので、お約束は出来ませんが、「町民による桜一本運動」も含め、実現に向けて努力していきます。</p>

(2) 導入機能の設定について

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
25	P29～P30 飲食機能	<p>新得は、野菜などの生産者や生産物が少ないことから、地元でとれる山菜などの加工販売はどうか。</p> <p>そばやチーズ、牛肉、エゾシカ、新得地鶏ではコスト高であり、安価なアイテムが必要。</p>	<p>いただいたご意見を参考にしながら、魅力のある加工品の開発も併せて、町内事業者からの提案も引き出ししていくなど、努力していきます。</p>
26	P31 駐車場	<p>ガソリンスタンドを設置したらどうでしょうか。</p>	<p>ガソリンスタンドの必要性は今後も検討し、基本構想案のP31に記載の通り、将来普及が見込まれるEV充電設備を備えた駐車場を整備する方向で考えております。</p>
27	P31 駐車場	<p>EVスタンドは必要と思いますが、将来を見込んで水素ステーションを設置できるスペースを当初から設けてほしい。町内のバイオガスプラントで水素を作り、道の駅全体を水素燃料で賄うような地産地消も考えることが出来ると思います。</p>	<p>EV充電駐車場の整備を目指して進めていきますが、水素ステーションについては、財源措置など国等の動向を見極め将来を想定しながら、必要性などを検討していきます。</p>
28	P32 トイレ	<p>トイレは、女性に好まれて話題になるぐらいの内装デザインを考える。</p>	<p>女性の意見も取り入れながら、ご希望に添えるよう努力します。</p>
29	P32 トイレ	<p>トイレは機能面ばかりではなく、雰囲気などにもこだわった印象に残る最先端のものを取り入れて、「新得の道の駅はすばらしい」もセールスポイントにしてはどうか。</p>	<p>町内の女性団体など幅広く意見を伺いながら、多くの方に満足していただけるトイレの整備を目指していきます。</p>

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
30	P29～P30 飲食機能	<ul style="list-style-type: none"> ・他の道の駅を見ても飲食部門、物産部門、物販部門のほとんどが赤字であり、施設運営にお金がかからないようにコンパクトな道の駅を目指すべきではないか。 ・キッチンカー、販売カーで行うのが良いのではないか。他の町のキッチンカーを運営する方を公募して出店してもらうなど、魅力づくりが可能では無いか。 ・軽トラ市の参加や物販カーでメーカーが自らの力で出店すれば良いと思うし、運営母体は情報発信とトイレ、飲食スペースの管理をすれば、コスト減になり赤字は少ないのでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限りコンパクトな道の駅を目指すとともに、整備に当たっては、DBO方式（施設の設計・建設・運営等を一体で民間に委託する事業方式）の採用など、経費削減に繋がる方法を検討していきます。 ・キッチンカーなどの出店は、経費削減や魅力づくり、活気や賑わいづくりの面でも有効であると考えており、また基本構想案P28に記載のとおり、検討委員会の中でも同様の意見をいただいておりますので、今後具体的に検討していきます。 ・軽トラ市の参加もいただくことが可能かも含め、関係者と相談していきます。
31	P37 広大な敷地を 活用した宿泊 機能	<p>コロナ禍では野外キャンプは人気がしばらく続くので、オートキャンプ場の併設が望ましく、他にはない規模の遊具の設置。また冬は自然の傾斜を生かした雪の滑り台などを建設協会やボランティア、事業所など町民全体で作ることが出来れば良いと思います。</p> <p>オートキャンプ場を基点場所として、農業体験、温泉、アウトドア体験、フットパスの起終点などとして活用することにより、長期滞在が期待できる。</p>	<p>基本構想案P37に記載のとおり、オートキャンプなどアウトドアアクティビティの整備を目指して進めていきます。</p> <p>ご意見のとおり、農業体験や観光により長期滞在に繋がるよう、町内はもちろん、鹿追町などと連携の上広域的な整備効果が発揮されるよう関係機関と協議していきます。</p>
32	P28～29その他	道の駅にアウトドアをキーワードとして、アウトドアに関する民間企業との協力。実際に商品の実物を見て、触れて、買える場所とする。その商品をすぐに使えるロケーションを提供する。ディスプレイネーション十勝×スノピなどの気運に乗る。	民間企業との協力は、誘客に大変有効であると考えており、設計事業者からの提案もいただきながら、可能な限りご意見を反映できるよう努力していきます。
33	その他	他の道の駅との差別化。グルメはもちろんだがプラスαの付加価値、なかなか実物を見ることができない物の展示販売。	ご意見に可能な限りお応えできるよう努力していきます。
34	その他	駅前との差別化。駅は鉄道があるのもっと鉄オタ視点として、道の駅との住み分けを考えるべき。	道の駅は自然体験やドライバーの休憩機能を中心とし、駅前のご意見のとおり、鉄道をメインとした整備などにより棲み分けを図っていきます。
35	その他	店内の中央には、旧狩勝線新得駅からトンネルまでをジオラマで展示し、お店や生産者、観光スポットなどの紹介、また鉄道の歴史などを紹介しては。	鉄道の町としての特徴については、駅前再整備の方で取り入れることが望ましいと考えており、どのような方法が良いか、関係者と協議していきます。
36	P37 広大な敷地を 活用した宿泊 機能	<p>施設としてオートキャンプ場がありますが、どのような方々の宿泊を考えて設定しているのでしょうか。キャンプ場で宿泊して次の日には次の目的地に向かう可能性が高いように感じます。</p> <p>町内や十勝管内へ回遊を促す方策が示されていません。</p>	<p>近年は家族連れのほか一人キャンプ、アウトドアなどの人気に加え、昨年からはコロナ禍にあってさらに需要が伸びており、今後も新たな旅のスタイルとして定着することが見込まれます。</p> <p>農業体験のほか、例えばラフティングや乗馬などのアクティビティ、ゴルフ、スキー、サホロリゾート、クラブメットやトムラウシ温泉など様々な魅力を発信し、回遊に繋がるよう町内はもちろん、然別温泉を有する鹿追町をはじめとした西十勝で連携のうえ、広域的な整備効果が発揮されるよう関係機関と協議していきます。</p>

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
37	P31、P32 トイレ、駐車場	新得S I C付近の建設にしても、必要なのは24時間使用できるトイレです。地域住民の利用がそうそう見込めるとは思えない場所ですから大半が駐車場でいいと思います。ただ、ガソリンや充電スタンドが高速道路に少ないようなので、その程度のサービスがあれば良いと思います。	町民の間でも様々な意見があると認識しておりますので、今後も可能な限り町民の皆様に納得していただけるよう努力していきます。
38	P37 特産品の販売	販売商品は、生産者の顔が見えるパネルを作り、地元の特産品、農産物、鉄道グッズなどを販売。春は山菜、秋は農産物、ふるさと納税品などの特設コーナーを設けては。	顔の見える販売は、生産者・消費者双方にとって非常に効果的なことであり、そのほかのご意見についても意向に添えるよう努力していきます。
39	P35 グルメの商品 開発	食事を出来るようにして、そば、地鶏、鹿肉・羊料理などをベースにメイン料理を作る。そばは、町内のそば打ち同好会等が持ち回りで営業を考える。 お持ち帰りの弁当も販売し、駅弁のイメージで包装紙を作る。	食堂を設置するか否かについては、方向性が決まっておりませんが、基本構想案35ページに掲載のとおり、町内で生産された食材を活用したテイクアウトグルメの開発を行い、販売することを目指しております。 また、そばの販売については、町内のそば打ち同好会と相談させていただきます。
40	P37の(4)イ ベントスペース	「多目的に活用できるイベントスペース」とあるが、大きな屋根をかけて、電源や給排水を設備すると良いのでは。 ・非常用電源を設ければ、給水車や災害時の風呂利用も出来る場所になるのでは。 ・キッチンカーが集まるイベントができるのでは。（キッチンカーの許可をしている道の駅が少ないらしい） 新得に泊まってくれたり、新得産食材を使ったメニューを出してくれたら、出店料を無料などにして、新得を拠点に道内を回ってもらう。 ・キッチンカーと地元の店とのコラボや、イベント告知などをキッチンカーに貼り出してもらう。 ・その他屋外イベントにも活用できる。	・非常用電源や給排水設備については、町全体の防災設備を考慮した上で、必要性などを、今後の基本計画等策定の中で議論させていただきます。 ・キッチンカーは、No.30で前述したように出店をいただけるよう、いただいたご意見も踏まえ今後具体的に検討していきます。 ・そのほか、町民や観光客に楽しんでいただけるイベントを定期的に開催するなど、賑わいのある場所を目指していきます。
41	P35、P36 グルメの商品 開発	そば、地鶏、チーズなどの特産品を使った料理を新しく開発し、また、新たな農産物の開発も必要であり、わざわざ立ち寄る価値のあるものにする。	専門家や農産物生産者の力も借りながら、ご期待に添えるよう努力します。
42	P37の④ 特産品の販売	道の駅の魅力は、地元の野菜などが新鮮に安く入ること。十勝広域の特産品ではなく、まず新得町の農産物の充実をしたいものです。	状況によっては、十勝広域の特産品も取り入れることも考えられますので、どういった方法が良いか、生産者・消費者双方の意見を伺っていきます。
43	P36、43 飲食・物販機 能	チーズにこだわった飲食・物産とありましたが、安定供給は可能なのでしょうか?共働学舎やエゾリスの谷のチーズのことだと思いますが、薄利多売になると対応できるのが心配です。	新得町の特産品であるチーズは、そこに付加価値があるものであり、大量生産のものとは差別化されていると考えています。どこでも、いつでも購入できるものではなく、新得町に来て購入できる貴重なチーズとしての価値であり、また、薄利多売になるとは考えておりません。

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
44	P30～33 情報発信機能	<p>休憩施設が出来たら是非とも、行き当たりばったりの旅行客でも新得に降りてきたくなるように、余すところなくロケ地情報や何がある街なのか紹介して欲しいと願っています。</p>	<p>ご意見のとおり、情報の発信に努力します。</p>
45	P31ほか その他	<p>何年か前に道の駅摩周に行きましたら、売店での購入額に対してかなり割合の良い、町内のガソリンスタンドや商店で使える商品券を配っていました。このアイデアは新得割等の実践の参考にもなっているのかなと思います。同じく商業施設や温泉宿泊施設への誘導を図るべきでしょう。ただ、市街地への誘導は目指すべきですが、はなから降りてくる気の無い層もいるからには、電気自動車の充電設備やガソリンスタンド等、他のサービスエリアで余りやっていないことを採算性はなくてもやってみる必要はあるかもですね。それでインターチェンジの約束が取れるのであれば。駅前開発構想の施設とも連携して、両方を訪れると何か得ることがある工夫は常にしていく方向性は言うまでもないですが、だからこそ市街地に魅力的な施設があることが大切です。博物館的なメイン機能はやはり駅前に集中して欲しい気がします。レストランが充実しすぎると、街に降りてくる必要がなくなってしまうし、バランスをどうするかは利用度合いに応じて変化させて行く戦略がいるでしょう。</p> <p>ストリートミュージシャンがイベントを開ける場所も作るとか、人が集まる先進的な理由を作る。</p>	<p>ガソリンスタンドの必要性は今後も検討し、基本構想案31ページに記載のとおり、将来普及が見込まれるEV充電駐車場の整備を目指して進めていきます。</p> <p>その他いただいたご意見を参考にしながら、駅前再整備も併せて魅力ある市街地の形成に努力していきます。</p>
46	P32 トイレ	<p>道の駅で肝心なのは何と言っても「トイレ」です。その点、ネットでも新得辺りにパーキングエリアが欲しいという人がいます。</p> <p>トイレは最近の新得の整備傾向では、町内の木材を使った木のテイストで考えられていると予想します。併し、管理と清掃、見栄えに関してそれは最良の選択である必要がありますがどうでしょうか？新内駅跡のトイレのドアも木材ですが、いつか破壊されて町にメールしたことがありましたね。経年変化で汚く見えるとトイレファンには敬遠されるのは間違い無いと思います。いかに綺麗さが維持されるかが重要な要素です。</p>	<p>いただいたご意見も参考の上、特に女性の意見も伺いながら、多くの方に満足していただけるトイレの整備を目指していきます。</p>

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
47	その他	<p>②クリーンな電源によるEV充電施設 計画の中には、GSが併設されることであるが、もちろん電気自動車のEV充電設備の設置義務などもあるものと思います。 すべての電気がクリーンなわけではなく、風力・水力がCO2をほとんど排出しないで作られた電気であることに着目しなければなりません。十勝ダム、岩松ダムによる水力発電こそクリーンな電源であり、駐車場の一列に冬期間の雪と夏の日差しを避ける意味で屋根を掛け、さわやかな水色の塗装をした屋根と庇に「水力発電によるクリーンなEV充電」と書いてアピールするのはどうでしょう。</p>	<p>基本構想案31ページに記載のとおり、将来普及が見込まれるEV充電駐車場の整備を目指して進めていきます。 その他いただいたご意見を、どこまで取り入れることが出来るかわかりませんが、基本計画等策定の中で検討していきます。</p>

(3) 道の駅の整備目的について

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
48	その他	<p>新得駅前再整備案との違いがよくわかりません。同じような施設を2カ所とする意味が理解できません。</p>	<p>候補地の選定に関する考え方で前述したように、S10設置を実現するためには、道の駅と一体的に整備することが有効だと考えていることから、道の駅は主となるターゲットを観光客とし、一方で、駅前再整備は町民をはじめ駅の利用者や国道を通過する方を主とした整備を目指していきます。</p>
49	P26 整備効果	<p>「街中への回遊を促し、新得町の特性を生かした地域のにぎわいを生み出す拠点づくり」とあるが、回遊を促すためには、道の駅建設以前に魅力を感じるものが街中にある必要があり、立地条件を活かすのは、駅の方だと思います。</p>	<p>駅前には、地元で採れた新鮮野菜をはじめとした地場産品の物販店舗やカフェ、温浴施設などを備えた複合施設を設置し、また鉄道の町としての特徴を生かすなど、子どもから高齢者までが集い賑わいのある場所になるよう、努力していきます。</p>
50	P26～27	<p>整備目的や方針をもっと絞るべきで、町民を意識しすぎたコンセプトや整備方針が、道の駅本来の役割をぼかしています。あくまで旅行者ファーストとし、旅行をする上でインターチェンジから他の旅行施設に切れ目なく行ける導線作りのための拠点となるべきです。 十勝の玄関口としてブランドを保持しつつ、十勝全域を意識して構築していくのが良いと思います。</p>	<p>ご意見として参考にさせていただきますが、前述のとおり、道の駅は主となるターゲットを観光客とし、一方で、駅前には町民をはじめ駅の利用者や国道を通過する方を主とした整備を目指していきます。 なお、十勝の玄関口として意識しながら、然別温泉を有する鹿追町をはじめとした西十勝で連携の上広域的な整備効果が発揮されるよう関係機関と協議していきます。</p>

(4) 今後の課題について

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
51	P50 建設費、運営費、収支等	建設費、運営費、収支見込みなどを想定した上で、どのような財源措置をしていくのかを明記する必要があるのでは。	前述したように、この基本構想は整備の方向性を示すビジョンであり、建設費等については、今後実施を予定する道の駅整備基本計画等において、お示しをさせていただきます。
52	P50 収益、管理運営主体	「町に人を呼び込み、町内に多くの人を周遊させることで、町の経済活動を活性化させる役割がある・・・」とあるが道の駅単体の収益や、経済効果の試算も示されず、管理・運営主体の決定もされていません。これは今後の課題ではなく、早い段階で大まかでも算出されていないようでは、将来がみえているのでは。	大型事業を実施する場合は議論も含めて段階を踏んでいく必要があります。この度パブリックコメントを実施した道の駅基本構想案につきましては、候補地の選定、道の駅に関するコンセプトの設定、導入機能のイメージなどの検討を主としております。管理・運営主体等につきましては、民間事業者を公募する方向で協議している段階です。 この度いただきましたご意見等を参考にさせていただきますながら、今後実施を予定する道の駅整備基本計画等において、お示しをさせていただきます。
53	P50 その他	今後の課題の三点は非常に重要なことで、特に「SIC設置動向は、NEXCOをはじめ関係機関からすると、新得町に道の駅の確実な計画があつて接続のためのSICの整備なのか、清水ICよりも距離的に屈足、鹿追、瓜幕、土幌へのアクセスの利便性と、地域活性化を特に考慮して新得のICを考えているものなのか、強く迫らなければならないと思います。両者の思いが同時進行なのでしょうが。	道の駅を設置することで確実に交通量の増加に繋がることから、SIC整備の可能性が高まるものと考えております。 さらに、ご意見のとおり、西十勝地区のアクセスの利便性アップによる経済効果を考えております。
54	P50 その他	「一時退出を可能とする賢い料金」の適用を考慮して、SICを出てからの道の駅をお考えのようですが、SAとしての道の駅とはならないのでしょうか。 ①トイレ、休憩、テイクアウト、お土産を求める人は、SICを出入りせずにSAの機能として利用頂く方が、ETCを搭載していない人も含め、利用者が増えることに繋がると考えます。 ②SAとしての道の駅の駐車場からSICを利用して町内、周辺町村へアクセスすることが叶わないのでしょうか。 ③道の駅としてのSAに、一般道から道の駅のみ利用する人のためには、SAと併設して区別された駐車場から道の駅に出入りできるものと考えます。オートキャンプ利用の車はSICを出ることになりますが、SAとしての道の駅から管理することが可能と思います。 上記3点は、規模こそ違いますが、新東名高速などで行われている形ですが、いかがでしょうか。	一時退出しない方法を検討した経過はありますが、SAと一体となった計画にならなかった理由として、用地の課題や高速道路利用者の安全性の問題のほか、SICの交通量の算出はインターを出入りした台数で換算すること、さらに、道の駅で新得町を知っていただき町中へ周遊してもらうことを一つの目的としていますので、一時退出をしていただく方法をとりました。

(5) 基本構想の策定経過について

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
55	P1 その他	少子高齢化、人口減少が進み、あらゆる産業において労働力不足が生じている新得町において、道の駅の施設運営をする人材の確保は、もう目星がついてるのでしょうか。	具体的な協議はこれからとなりますが、施設の設計・建設・運営等を一体で民間に委託する事業方式（DBO方式）の採用を模索しており、運営会社が雇用する人材は町民の採用を優先したうえで、不足する場合は運営会社のスタッフを広域で確保する方法などを検討しています。
56	P1 その他	役場若手政策が提案してきた構想を更に進めて役場内だけではなく、10年後20年後の将来には、この町の中核を担うであろう若い世代が意見を出し合い、それで了承した結果の案と考えていいのか。 10年後20年後にこの施設の処理に若い人たちが納得しているのなら、それはそれで仕方ない事だと思いますが、そうでないのなら、若い人たちにこれを受け継いでもらいたくありません。	基本構想案の策定に当たっては、関係機関のほか公募による委員の方々の意見を伺ってきておりますが、ご意見のとおり次の世代の負担とならないよう、今後も住民説明会や意見交換会等の開催により、可能な限り町民の皆様の意見を取り入れながら、計画策定を進めていきます。
57	P1の9～10行目 整備の経過等	・「役場の若手政策が・・・令和2年に3月に提案してきた」とあるが、若手政策とは意味がわからないし、その提案だけを経過の根拠とするのはいかがか。 平成〇〇年代に国道38号線の役場庁舎周辺で特産品直売所を数年間試験開設し、整理・判断した経過がある。 ・町が、道の駅整備検討委員会に諮問した事項が明示されていない。	・ご指摘のとおり、経過等について追加して表記していきます。 ・道の駅整備検討委員会に諮問した事項は、検討委員会設置要領に定めておりますので、要領を添付いたします。

(6) 道の駅の整備イメージについて

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
58	外観	新内にある当時の国鉄職員の宿舎の壁材は赤レンガです。道の駅の外装について、鉄道の町としてのイメージを外観に取り入れ、木と赤レンガを組み合わせるぬくもりのあるデザインにしたら良いと思う。	事業費と財源の問題も当然考えていかなければなりません。いただいたご意見を参考にしながら、より新得町らしさを感じることを出来るデザインを目指していきます。
59	P48 その他	建屋側面図が示されていますが、この場所（IC付近）は景観が素晴らしいので、屋根上に展望室を提案します。	ご提案の展望室は、費用の面から難しいかもしれませんが、十勝・新得らしい景色を一つの売りとして、効果的なPRに努めていきます。
60	外観	道東道、鉄道、どちらで移動しても、新得の手前で開ける雄大な光景に感動します。人工的な建造物は合わないのでは。感動を守るのも十勝の入口の町の責務だと思います。	新得らしさの中にも景観に配慮した建物を検討していきます。

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
61	外観	<p>①道の駅の建物（塔）</p> <p>建物は先に申し上げた随一の勝景を眺望できるものとし、入口の反対側を例えば六花亭六花の森工場のカフェテラス、相原求一郎美術館のガラステラス、上土幌ナイタイテラスなど、床から天井までガラスを多用してはと思います。</p> <p>大事なことは、高速道路の広内トンネルを新得に向かって下ってくるときには、候補地の全貌を見ることになるので、どこにでもある建物ではなく、シンプルで上品な建築物であることが、集客の要因に繋がります。</p> <p>建物の中心等にハッとステキな塔を建てて道の駅のシンボルとし、塔の四方に例えば銀座四丁目の服部セイコービルの時計台のような時計を設け、今日は急ぐけれど、いつかは立ち寄ってみたいと思ってもらえることが大事なことと思います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・出来る限りすばらしい景観を眺望していただける方法を検討しますが、ご提案の床から天井までのガラス張りについては、費用の面から難しいかもしれませんが、十勝・新得らしい景色を一つの売りとして、効果的なPRに努めていきます。 ・建物の特徴や構造などについては、財源の問題もありますが、いただいたご意見も参考に、新得らしさをアピールできることを第一に、基本計画等策定の中で議論させていただきます。

(7) 道の駅の整備方針について

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
62	P27～29 整備方針と導入機能	<ul style="list-style-type: none"> ・管内の道の駅は個性的で実績評価の高い駅が多く、競争が厳しいことでもある。清水町でも計画を表明したことで、玄関口も競合する。 ・道央方面、富良野エリアからの高速道利用者呼び込みできる魅力ある拠点、鹿追、上土幌、阿寒など周辺観光地へのルート時短・利便性などがなければ、利用増加は見込めない。 ・新得SIC付近を候補地にしているが、高速道路に接続する整備は考えられないのか。時間短縮と料金低減など利用者負担の軽減のメリットは大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプや農業体験のほか、例えばラフティングや乗馬などのアクティビティ、ゴルフ、スキー、サホロリゾート、クラブメットやトムラウシ温泉など様々な魅力を発信し、回遊に繋がるよう町内はもちろん、然別温泉を有する鹿追町をはじめとした西十勝で連携の上広域的な整備効果が発揮されるよう関係機関と協議していきます。 ・高速道路に接続する方法を検討した経過はありますが、実現に至らなかった理由として、用地の課題や高速道路利用者の安全性の問題のほか、SICの交通量の算出はインターを出入りした台数で換算すること、さらに、道の駅で新得町を知っていただき町中へ周遊してもらうことを一つの目的としていますので、一時退出をしていただく方法をとりました。
63	早期の実現を	<p>私は、兼ねてから町内にICまたはSIC、SA、そして道の駅の設置を強く望む一人として、町長様をはじめ職員、私たち住民の熱意があれば、このたびの片側二車線拡幅に合わせて、SICと道の駅の実現をみるものと存じますし、その計画は急務であり、尽力を。</p>	<p>前述のとおり、SICの設置は、必ず成し遂げたいという強い思いを持って数年来取り組んできており、SIC実現のためには道の駅をセットとすることによって、SICの整備効果を高める有効な手段として考えております。</p> <p>今後も早期の実現に努力していきます。</p>

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
64	P27～29 景観のPR	<p>現地を訪れましたが、高速道路の広内トンネル、佐幌岳をはじめとした山々、そして新得の町並みが見え、手前に牧草地が広がる風景は光景は、あさに一見に値するもので、この場所なら再び訪れてみたいと誰もが思い描くと考えます。</p> <p>また、冬の冠雪を頂く山々も朝陽や夕日に輝いているはずで、道の駅の目的である運転の疲労を癒やすその機能以上に新得町として強調、アピールすべき絶景のポイントと考えます。</p>	<p>景観の良さについては、多くの方からご意見をいただいております、十勝・新得らしい景色を一つの売りとして、効果的なPRに努力していきます。</p>

(8) 総論について

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
65	その他	<p>高速道路を一時退出せずに、上下線で駐車場を分けて道の駅を利用することはできないのか。</p>	<p>前述のとおり、一時退出しない方法を検討した経過はありますが、高速道路から退出することとなった理由として、用地の課題や高速道路利用者の安全性の問題のほか、SICの交通量の算出はインターを出入りした台数で換算すること、さらに、道の駅で新得町を知っていただき町中へ周遊してもらうことを一つの目的としていますので、一時退出をしていただく方法をとりました。</p> <p>なお、一時退出の際に高速道路の料金が加算となり負担が増加しないように「高速道路からの一時退出を可能とする賢い料金」の検討を進めていきます。（構想案50ページのとおり）</p>
66	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の役割は、トイレと飲食の心配をしなくて、安全に道路を移動できる環境提供です。高速道路にはSA、PAにその役割を担っており、一般道にも必要だと言うことで道の駅が導入されたのでは。 ・町民が利用できる、徒歩の人、近隣の住民も利用できるということも、一定の利用客を確保するための条件です。 <p>他とは違う、ここにしかない、という差別化が必要であり、じっくり検討する必要がありますが、だらだら時間をかけないで程度決まったところで走り出す、大きな箱を造らず「小規模でも魅力的」な道の駅から始めるのが成功の道かと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町民のための道の駅を設置してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅の役割はご意見の通りですので、そのことも意識しながら駅前にも国道利用者呼び込む努力をしていきます。 ・道の駅を町民に利用していただけるようにすることは、当然必要なことですので、車のない方のための足の確保に努めていきます。 ・SIC設置を実現し、町民の交通の利便性や観光客の誘致による町の活性化を図ることは、町民の利益に繋がるものと考えております。

(9) その他

No	素案ページ 又は細目等	ご意見・ご提案等の内容（概要）	ご意見・ご提案等に対する町の考え方
67	その他 (駅前再整備)	駅前ロータリーが、車両の逆走防止に十分な設計になっていないので、道幅を広げて2車線・両通行にすべき。	駅前通からの誤進入を防ぐため、ロータリーの出口部分のみ双方向通行とするよう計画しております。
68	その他 (駅前再整備)	既存の宿泊施設を圧迫することになるような宿泊施設を、行政が建設すべきではないと思います。	客層が既存の宿泊施設とかぶらないように配慮し、町内で宿泊が出来ずに町外で宿泊する方が出ないように宿泊施設の建設を検討していきます。
69	P53 検討委員名簿	整備検討委員会名簿に対する規約を根拠として添付すべき。	検討委員会設置要領を定めておりますので、基本構想に添付いたします。
70	その他	パブリックコメントの前に説明会を開いた方が理解も進むし、丁寧な対応。パブリックコメントする計画については、説明無しに意見だけ提出させる形式は改めるべきと考える。	公募委員も含めた検討委員会において審議をいただいた中で基本構想案を策定しており、パブリックコメント実施要綱に基づいた手続きとして今回意見を募集したものです。 基本構想案は「目指す姿」としての位置づけでありますので、今後基本計画等策定の際に説明会を開催していきます。
71	その他	検討委員会の傍聴は可能か。議事録、図録等の公表は認めているか。これは他の同種検討委員会に共通する事項。	情報公開条例に基づき、各種検討委員会等は会議の公開に努めることとなっているところですが、SICに関しては、開発局やNEXCO、北海道など交渉相手があることであり、公表できない部分が多くを占めることから、傍聴はお断りせざるを得ない状況です。 また、議論の要旨を作成しておりますので、公開できる範囲とはなりますが、公表することは可能です。